

お子さんの虫歯予防

乳歯や生えたばかりの永久歯は歯質が軟らかく酸にとっても弱い状態なので虫歯になりやすいです。

そのため当院では、歯磨き指導の際最後にフッ素塗布したり臼歯の溝が深い子にはシーラント充填を行っています。どちらも保険適用です。

フッ素で歯質を強化しよう！

フッ素には3つの作用があります。

再石灰化の促進

歯から溶け出したカルシウムやリンの再沈着を促進します。

歯質強化

歯の質を強くして、酸に溶けにくい歯にします。

細菌の酸産生抑制

歯ブラシで落としきれなかったプラーク（歯垢）中に潜んでいるむし歯原因菌の働きを弱め、酸が作られるのを抑えます。



当院ではバトラーフローデンフォームをしようしています。

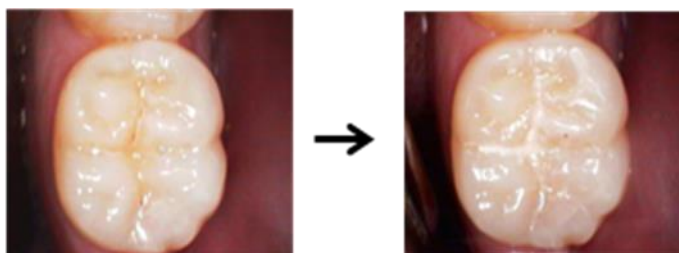
フォーム（泡）を使用しているため歯面だけでなく歯間部・隣接面にも入り込みやすく歯列全体にいきわたることが特徴です。

3～4カ月ごとに行います

溝を塞いで6歳臼歯を守ろう！ フィッシャーシーラント

シーラントは予防填塞のことで、噛み合わせの深い溝にフッ素を配合した樹脂を埋めて溝を浅くして虫歯になりにくくする予防処置です。

歯の噛み合わせがすべて見えるようになれば開始時期です。



溝の部分をしっかり洗浄した後に表面処理薬で除菌し、樹脂を詰めます。生えてくる途中ですでにむし歯になっている場合はこの処置はできません。

磨耗や噛み合わせなどの様々な状況により外れてしまうことがあるので定期健診を受けてチェックします。

シーラントをした後も正しい歯磨きをしなければ虫歯になってしまいます。